

|  |   |
|--|---|
| 2014年<br>秋 どうそ 満<br><b>議員活動報告</b><br><br>発行責任者 道祖 満<br>飯塚市 鯉田2525-44<br>TEL 25-3280・22-9323 | つくります!<br>newしゅいづがライフ<br>飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満 |
|--|---|

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

## 下紅葉かつ散る山の夕時雨

### 濡れてやひとり鹿の鳴くらむ

(藤原家隆)

皆様お元気ですか。

今年の夏は雨の日が続き 9月に入りどうにか晴天の日が多くなりましたが、九州では米の出来が多少悪いようです。

先日、秋晴れの日紅葉を見るため英彦山行ってきましたが、これまで目にすることのなかった鹿が数頭道路沿いに出てきていました。初めて野生の鹿を真近で見ましたので驚きました。(この頃は、猪・野うさぎも見ることが有ります。)

飯塚市議会では、9月4日から9月30日まで、9月定例会議会が開催されました。

今回の市議会には、飯塚オートレースを平成27年4月から民間に委託するための、飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算の審議をするとともに、平成26年度飯塚市一般会計予算に関して、補助事業に伴う事務事業の変更、市役所の新庁舎建設事業費の増額予算と8月の大雨災害復旧費の追加の予算等3件の補正予算について審議が行われました。

オートレース場の運営については、平成26年7月23日・24日に千葉県船橋市でオートレース開催地の市議会議長会が開催されましたが、この際の話し合いでは、今後、全国6か所



にあるオートレース場は連携して売上げ向上に取り組むことが確認されましたが、船橋オートレース場は、8月12日に平成27年3月末で廃止が発表され驚きました。

## 平成26年9月定例会市議会報告

平成26年9月定例会市議会が、9月4日から9月30日まで開催されました。

今回の定例会市議会では、平成26年度飯塚市一般会計補正予算(第2号)、(第3号)、(第4号)、飯塚市学校給食事業特別会計補正予算(第2号)、飯塚市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第2号)、飯塚市立病院事業会計補正予算(第1号)の補正予算案7件と、次の条例議案等が審議されました。

◎中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴い、「飯塚市ひとり親家庭医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例」。

◎保健福祉施設の使用料等を平準化するため、冷暖房料の新設、市外居住者の使用料を改定し平成27年4月1日から施行することと平成28年4月1日より指定管理者による管理を実施するための、「飯塚市庄内保健福祉総合センターハーモニー条例の一部を改正する条例」。

◎飯塚市小型自動車競走事業包括民間委託業者選定委員会の設置のための、「飯塚市付属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例」。

◎小中学校職員用情報ネットワーク端末機器等(ノートパソコン192台、デスクトップパソコン2台、マイクロソフトオフィスライセンス194個)を2074万8583円で株式会社玉置より取得する「財産の取得」。

◎笠城ダム公園用地として原野5213㎡を4629万4196円で飯塚市土地開発公社より取得する「土地の取得」。

西日本新聞

2014年(平成26年)8月29日 金曜日

**飯塚市は28日、9月4日開会の市議会9月定例会に提案する本年度一般会計補正予算案など14議案と、2013年度一般会計決算案など認定議案17議案を発表した。15年度から民間業者に運営を委託する方針の飯塚オート関連では、オート**

**飯塚市は28日、9月4日開会の市議会9月定例会に提案する本年度一般会計補正予算案など14議案と、2013年度一般会計決算案など認定議案17議案を発表した。15年度から民間業者に運営を委託する方針の飯塚オート関連では、オート**

**業者募集へ補正予算案**

飯塚市は28日、9月4日開会の市議会9月定例会に提案する本年度一般会計補正予算案など14議案と、2013年度一般会計決算案など認定議案17議案を発表した。15年度から民間業者に運営を委託する方針の飯塚オート関連では、オート

**飯塚市は28日、9月4日開会の市議会9月定例会に提案する本年度一般会計補正予算案など14議案と、2013年度一般会計決算案など認定議案17議案を発表した。15年度から民間業者に運営を委託する方針の飯塚オート関連では、オート**

業者から事業運営の提案を受けるプロポーザル方式で、10月から委託業者を募集する。11月下旬に業者と

リースの特別会計補正予算案に、19年度まで5年間の包括的民間委託料の債務負担行為を盛り込んだ。予算案が可決されれば、業者から事業運営の提案を受けるプロポーザル方式で、10月から委託業者を募集する。11月下旬に業者と

契約を結びたい考え。委託料は今後具体的に決まり、15年度当初予算案に計上する見通し。

飯塚市議会は28日、議会運営委員会を開き、9月定例会の日程を9月30日まで27日間と申し合わせた。一般質問は17、19日、22日。(野津原広中)

◎飯塚市庄内生活体験学校の管理を、特定非営利活動法人体験教育研究会ドングリへ平成 27 年 4 月 1 日から 5 年間委託するための「指定管理者の指定」。

◎飯塚市体育施設 14 施設に係る指定管理者の指定を、飯塚市体育協会に平成 27 年 4 月 1 日より 5 年間（健康の森公園の多目的広場は 1 年間）委託するための「指定管理者の指定」。（陸上競技場については、12 月定例会市議会へ用途変更の提案を示す考えが示されています。）

◎飯塚市山口地域のレクリエーション施設（サンビレッジ茜）の有効活用を図るため大規模改修を行うための「飯塚市辺地に係る総合整備計画を定めること」。

◎市道 2 路線の廃止、市道 7 路線の認定について。

◎市道上の車両損傷事故に係る損害賠償額を定めること及びこれに伴う和解の専決処分の報告等が審議されました。

各会計の補正予算案の主なものは、次の通りです

◎平成 26 年度飯塚市一般会計補正予算（第 2 号）は、補助事業に伴う事務事業費の変更の予算で補正額は 3 億 338 万 5 千 6 百円、主なものは、高齢者福祉施設等整備補助金 2 996 万 4 千円で 2 か所の施設にスプリンクラーを整備する、水痘ワクチン予防接種委託料 2612 万円、肺炎球菌ワクチン予防接種委託料の追加 2909 万 8 千円等です。

◎平成 26 年度飯塚市一般会計補正予算（第 3 号）は、8 月 22 日以降の大雨による災害復旧に要する予算で補正額は 6272 万円、主なものは、農業施設災害復旧として大畑かんがい排水機場修繕費 806 万 7 千円、建花寺水路・舍利蔵水路等 19 か所災害応急復旧手数料 1280 万円等です。

◎平成 26 年度飯塚市一般会計補正予算（第 4 号）は、市役所の新庁舎建設に係る経費を、資材・人件費の高騰のため総建設費の 25%増の 7 億 1700 万円を増額するものです。この結果、新庁舎建設に係る総額は、79 億 5406 万 1 千円から 97 億 2784 万 7 千円となり、その内訳は、本体建設費 77 億 4622 万 9 千円

西日本新聞

2014年(平成26年)8月23日 土曜日

**飯塚市**  
97億円超 復興、五輪で資材高騰

飯塚市は22日、2018年度末の完成を目指す新庁舎の建設事業費が、当初の計画より2割増の97億2千万円となる試算を明らかにした。東日本大震災の復興や20年東京五輪に伴う資材価格・人件費の高騰、消費税増税が主な要因。市議会特別委員会で報告した。

報告によると、事業費は12年作成の基本計画では79億5千万円だったが、今月まとめた実施計画で17億7千万円の増加を見込んだ。特別委では事業縮小などを求める声も出たが、市は、必要最小限の施設に絞り込んだ。50年から100年使う建物本体は頑丈なものにし、備品などの設備面を抑えた」と説明した。

現在の飯塚市は、06年に5市町が合併して誕生。築50年で老朽化し、耐震性に問題がある本庁舎は現在地で建て替える計画で、新庁舎は8階建て（延べ床面積

約1万8千平方メートルの予定。有利な償還条件の合併特例債を活用し、本年度中に建設に着工したい考えだ。

（野津原広中）

西 日 本 新 聞

2014年(平成26年)10月1日 水曜日

# 病院改修予算案を否決

## 飯塚市議会 大幅増額「納得できず」

飯塚市議会は30日、9月定例会最終本会議で、3億2800万円を追加し総額43億9千万円とする市立病院事業会計の病院建て替え事業補正予算案を賛成少数で否決した。

建て替え事業は2012～16年度を計画。補正予算案は、診療リハビリ棟改修工事(14～16年度)を1億7800万円から3億3500万円に88%増額するなどの内容。本会議では「なぜ増額するのか市から納得いく説明がない。あまりに多額で認められない」と反対討論があり、採決の結果、議長と欠席1人を除く26人のうち賛成12人で否

決となった。29日の厚生委員会でも否決していた。市の担当者は「資材価格高騰や消費増税、防水など追加工事を上乘せしたほ

か、見積もりをやり直したら額が上がった。当初の見積額が低すぎた」と話す。市が当時、見積もり業者は

16年5月にオープンする計画だったが、予算案否決で遅れる見通し。斎藤守史市長は「もう一度精査し、おかしい点があれば改め、再

度提案したい」と話した。最終本会議ではこのほか、新市庁舎建設事業費7億1700万円を含む本年度一般会計補正予算案など16議案を可決。新庁舎建設の計画変更に伴う住民説明会開催を求める請願を採択にするなどとして閉会した。

(野津原広中)

既存庁舎解体等のその他の工事9億4377万4千円、仮設経費等その他の経費10億3784万4千円です。

この97億2784万7千円の財源としては、合併特例債86億2780万円・社会資本総合整備交付金等の補助金2億1656万4千円・一般財源から8億8348万3千円を考えている。

また、合併特例債の86億2780万円は30年間償還の起債とするため、30年間の償還利子は32億1278万8千円となり、この償還利子を97億2784万7千円に加えると建設総額は129億4063万5千円となる。

建設後の毎年の一般財源の負担額は、合併特例債(86億2780万円)、償還利子(32億1278万8千円)の合計(118億4058万8千円)に対しては、国よりの交付税措置(82億8841万2千円)があるので、残る35億5217万6千円となり、これを30年間で負担すると、毎年の負担額は1億1840万6千円となる。と説明がありました。

新庁舎の建設に関しては、進捗状況等について市報、ホームページ等で市民の皆さんに広報していくとのことでした。

◎平成26年度飯塚市立病院事業会計補正予算(第1号)は、飯塚市立病院建替事業に伴い2億5549万4千円を増額補正するものです。

この結果、飯塚市立病院の建替事業に係る経費は、総額40億6195万2千円から43億9039万4千円と増額変更となります。

厚生委員会での審議の際、診療リハビリ等改修工事の補正額が1億7853万9千円から3億3510万3千円と87.6%の増額になっていることに対して質問があり、その理由として、資材・人件費高騰と消費税の増加と説明され、改めて業者から実勢単価の見積もりをとった結果で、当初のチェック不足があったことについては反省しているとの答弁がありましたが、厚生委員会では賛成少数で否決されました。

本会議で、この補正予算案について賛否を確認したところ賛成少数で否決されました。  
 ◎平成26年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2号）は、債務負担行為として包括的民間委託料を平成26年度から31年度までとし、限度額を小型自動車競走法に基づき実施する包括的民間委託業務に要する各年度の経費の合計額としています。

## 会派行政視察報告

平成26年7月17日から19日に、市議会議員会派で「廃校施設の跡地利用について」・「土地開発公社の解散について」・「定住促進施策について」行政視察を行いました。

### ◎「廃校施設の跡地利用について」

登別市では、中学校統合に伴い廃校になった学校跡地を、地域の発展の各施設として再利用する要望に対して、地域住民やPTA等を交えた協議の結果、遺跡・考古学をテーマとした文化施設として活用することを決定したとの説明がありました。



飯塚市では、学校の廃校後の跡地利用は原則として民間への売却を基本としていますが、地域の住民の街づくりに関する意見等について耳を傾け、住民の要望する再利用についても取り組むべきだと感じました。

### ◎「土地開発公社の解散について」

室蘭市では、昭和48年に土地開発公社が公共用地先行取得を目的に設立されましたが、平成26年3月に解散しています。その理由として、平成13年を最後に先行取得した用地を市に売却する業務となっている。今後も公社が先行取得する必要のある事業計画の予定が無い。必要が生じた場合は土地開発基金も活用可能である。等と説明がありました。

飯塚市でも土地開発公社の在り方については検討されていますが、室蘭市を参考に今後の方針を定めるべきだと感じました。

◎「定住促進施策」について

洞爺湖町では、一定期間のお試し期間を設けて生活体験をする定住施策を行っています。

住み慣れた街から、初めての街、長い時間離れていた故郷等へ新たな生活の場を構築するには、大きな決断が必要と考えます。飯塚市でも空家の数が増えてきていますが空家を利用して一定の期間生活を経験して頂き、安心して定住を決めて頂く方法の採用も考える必要があるのではないかと感じました。

## 飯塚市議会防衛議員連盟設立

近年、大雨、地震等による自然災害が頻繁に発生しています。

飯塚市においても、平成 15 年・20 年・21 年と大雨による災害が発生しています。

災害発生の際には、市民の生命と財産を守ってもらうため、自衛隊に災害救助要請を行っています。(平成 15 年の大雨災害の際には、浸水地区での救命ボート等による救助活動、浸水被害による廃棄物等の処理活動を行って頂きました。)

先般、議長として市長他市の執行部とともに、熊本市にあります陸上自衛隊健軍駐屯地に陸上自衛隊西部方面総監を訪ね、防衛施設周辺整備事業において、幸袋地区庄司川流域の浸水対策のための大規模な調整池の整備・浸水対策のための移動式の排水ポンプ設備の整備・筑豊ハイツの整備を要望して来ました。(西部方面総監部としては前向きに検討する意向が伝えられていますが、今後は防衛省への陳情が必要になってくると考えられます。)

これに先立ち、市長と福岡市で開催されました「九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会」に、陸上自衛隊西部方面総監に事前に挨拶に伺いました。

その際に、自衛隊の基地等が置かれている区市町村にはそれぞれ「防衛議員連盟」が設立され活動していることを初めて知りました。

飯塚市においても、自衛隊の活動について理解を深め、市民生活の安全を確保することを目的に、この連盟の設立をすることを各議員に提案したところ、28 人中 27 人の賛同を得ましたので、平成 26 年 9 月 19 日、「飯塚市議会防衛議員連盟」設立総会を開催いたしました。

設立の目的は、「市民と自衛隊の相互理解を深めることにより、自衛隊の健全な発展に寄与し、もって日本と世界平和の繁栄に貢献するとともに、災害等における市民の安全・安心を確保することを目的とする。」としています。

会長には市議会議長、副会長には市議会副議長、事務局長・理事・監事には各会派代表を役員として選出することにしています。

設立総会后、今年から設置された、防災危機管理監の吉田さんから「防衛省周辺対策事業の活用」について講演を受けました。

(飯塚市では、昭和 33 年からこれまでの間に、市営住宅敷地造成工事等 18 件の工事と、幸袋地区の桜田川水系用水路対策、幸袋地区の健康の森公園整備事業等が周辺整備事業として行われています。)

尚、飯塚市議会防衛議員連盟の今後の活動としては、12 月定例会開催時に「防衛セミナー」講演会を企画する予定です。

## 国道 200 号・201 号バイパス建設促進要望

平成 26 年 8 月 6 日、福岡県選出の地元国会議員に対して、関係自治体の各市長と各市町村議会議長で、国道 200 号と国道 201 号バイパスの建設促進の要望活動を行いました。

国道 200 号については、北九州市を起点とし、筑豊地域を南北に横断し筑紫野市に至る幹線道路で、北部九州の経済発展を担う道路です。

◎八木山バイパスの無料化に伴い 201 号バイパスと交差するバイパス交差点の渋滞が増大し地域交通に支障を及ぼすことが想定されるため交通の円滑を図る整備を行うこと。

◎豊かな生活の実現と活力ある地域づくりを推進するため、高規格幹線道路から市町村道に至る道路網の整備を一層促進すること。

◎渋滞対策、交通安全対策、沿道環境対策等、安全で快適な生活環境づくりを推進するため、道路整備を一層促進すること。

◎市町村の現状を踏まえた道路インフラの老朽化対策を推進すること。

等を、要望いたしました。

国道 201 号バイパス（筑豊横断道路）については、福岡県を東西に横断し、福岡都市圏と筑豊地域、周防灘臨海工業地帯を結ぶ道路であり、東九州自動車道に連結され北部九州の経済発展を担う基幹道路です。

福岡東バイパス、八木山バイパス、飯塚庄内バイパス、田川バイパスは供用開始されていますが、みやこ町域のルート未決定区間を含め田川バイパスと行橋 IC 間の早期完成が必要不可欠です。

◎みやこ町仲哀トンネルから行橋 IC までの区間の早期ルート決定並びに早期事業着手。

◎八木山バイパス 4 車線化の建設。第二筑豊烏尾トンネルの建設促進。

◎香春拡幅の建設促進。

◎飯塚庄内田川バイパス 4 車線化の建設促進。

等を、要望いたしました。

## 全国市議会議長会研究フォーラム参加

平成 26 年 8 月 6 日・7 日岡山県岡山市で、「第 9 回全国市議会議長会研究フォーラム」が開催されましたので、同僚議員と参加しました。

今回の研究フォーラムでは、増田寛也野村総合研究所顧問の基調講演「人口減少時代と地方議会のあり方」、パネルディスカッション「分権改革 20 年と地方議会のあり方」、課題討議「議会のあり方について」等が行われました。

パネルディスカッションでの、林宜嗣関西学院大学経済学部教授による「分権改革 20 年と地方議会のあり方」の中で、次のように言われていました。

「現在の地方議会改革論議について感じること」として、現在の議会改革は経費削減の延長線上で、議員が多すぎる・議員はボランティアで良いのではないかという主張に潜む問題。強化しなければならない議会機能が弱体化し、さらなる定数削減や経費の縮減につながる負の連鎖に陥る可能性。負の連鎖を断ち切ることが真の議会改革。

「議員定数に関する議論」として、議員定数は人口規模と面積でほぼ 8 2 % が決まる・適正な議員定数は一義的には決まらない・地方自体が果たすべき役割は、議会の仕事と責任のセットで定数は決まる。



この他に、「住民投票の限界・首長にはない議会のメリット」・「議会

改革の本質として二元代表制のメリットをいかに活かすか」・「議会は住民の縮図でなければならない」等色々な角度からの指摘と提言があり参考になりました。

特に、これまでの議員定数削減の際には、類似の人口規模の自治体を参考にしてきましたが、行政面積についてどのように考えるか参考意見がなく、今回、人口と行政面積で決まる計算式が示されたことについては、今後の飯塚市議会の議員定数を定める際の考え方の参考になります。

(飯塚市市議会の改選は、来年 4 月 26 日に行われる予定の地方議会の統一選挙となりますが、今回の改選は、平成 18 年 3 月に 1 市 4 町が合併して初めて市内全域を選挙区として行われますので、現行の議員定数の 28 名で実施される予定です。)